

上田市公文書館だより / 第9号

■公文書館から



公文書館のチューリップ

■公文書館園内の木々に若葉が芽吹き始め、小鳥のさえずりが一段と響く季節となりました。昨年11月に、お隣の東内保育園の園児のみなさんに植えてもらったチューリップも次々と

咲き出しました。3月一杯で東内保育園は閉園し、にぎやかな園児の声が聞こえなくなったのは寂しい限りですが、ときおり自分の植えたチューリップの様子を見に御家族とここを訪ねてくれます。ほほえましく、職員一同大変うれしく思っています。■さて、昨年度は、市役所本庁舎の建替えに伴い各部署から2,700冊に及ぶ公文書の移管がありました。この中には明治、大正期や昭和（戦前）の古い文書も含まれていました。また、地域文書（かつての庄屋宅が保管していた古文書など）の寄贈も数件ありました。これらの整理・保存を通じて、上田市の歴史が風化しないよう努め、整理作業の終了後には順次公開していきたいと考えます。乞うご期待を。（土屋）

■公文書館の催し ※マスク着用でご参加を。新型コロナの状況では中止や延期があります。

◎所蔵資料展「上田町から上田市へ」開催中 観覧無料

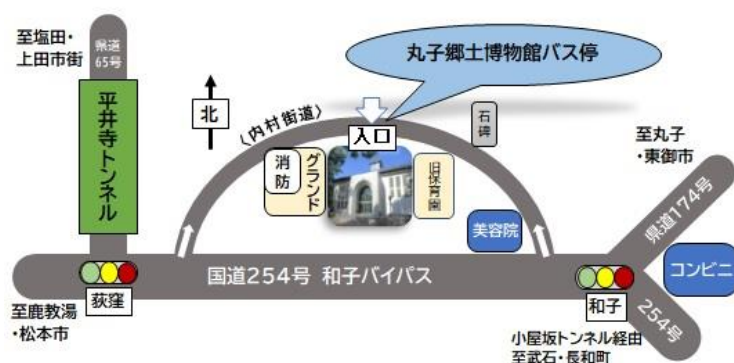
明治22年上田町誕生から明治、大正、昭和（戦前）の公文書「明治22年上田町条例第一号」、「昭和7年上田築城350年祭」など所蔵文書及び写真・解説パネル18点を展示

・期間：令和3年6月27日（日）まで ・会場：公文書館ロビー

◎所蔵資料展説明会（いずれも内容は同じ）

- ・日程：5月29日（土）及び6月13日（日）、一日4回開催
- ・時間：10：00、11：00、13：00、14：00 各回定員5名
- ・申込み：5月23日から受付します。電話で公文書館まで

■公文書館のご案内（休館：月曜日、祝日翌日、年末年始 開館時間 9：00～17：00）



■住所・電話

〒386-0413 長野県上田市東内 2564-1
Tel 0268(75)6682 FAX 0268(75)6683

■メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

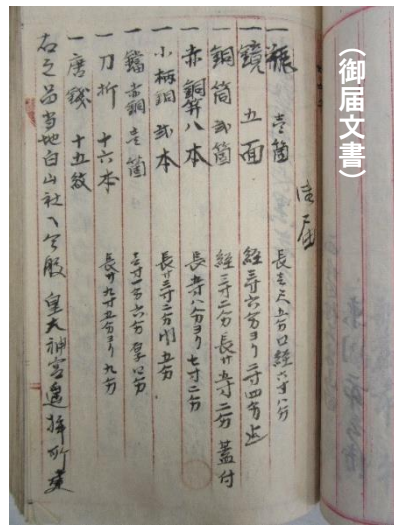
■ホームページ

上田市ホームページ内を公文書館で検索

■公文書館所蔵資料の紹介

霊泉寺経塚出土品の「御届」文書 (明治三十年)

●明治23年(一八九〇)から作成された西内村の『神社・宗教公文編冊』の簿冊には、明治30年(一八九七)6月2日付の霊泉寺経塚出土品の「御届」文書が保存されています。



●この「御届」文書には「瓶(かめ)一個、鏡五面、銅筒二個、赤銅筭(しゃくどうこうがい)八本、小柄(こづか)銅二本、鐙(こじり)赤銅一個、刀折一六本、唐錢一五」とあり、長さや径が記されています。なお、筭は髪かきのことと、鐙は刀のさやの末端の金具をさし、唐銭は中国銅銭のことです。

●こうした経筒などの資料は、霊泉寺の白山社境内に皇大神宮遥拝所を建築した際に、地下六尺(約一・八m)の地点から出土しました。発見され

た場所は、経典を土中に埋納した塚である経塚とみられます。経塚は中世では、追善供養や現世利益の目的で造営されています。この経塚は霊泉寺経塚とされ、現在出土品は東京国立博物館平成館一階の考古展示室に所蔵・展示されています。

●出土した2点の経筒には、「為清林十七年忌也孝子等敬白天文五年丙申四月三日」と、「天文五年丙申四月四日願主了尊住持明窓」の銘が各筒身に刻まれています。天文5年(一五三六)は戦国時代で、この年に武田信玄は元服し、晴信と名乗ります。『甲陽軍鑑』によると11月に佐久郡海ノ口城を攻め、一夜にして城を落城させたと伝えています。

●天文10年(一五四二)5月には武田信虎・諏訪頼重・村上義清の連合軍が尾野山城を攻略し、続いて海野平の戦いで海野棟綱を破り、真田幸隆達は上野国に亡命しています。(倉澤)



■公文書館の利用

※公文書館は入場無料、郷土博物館展示室は有料 (大人 100 円)

- **資料検索:** 目録検索システムをご利用ください。
- **閲覧申込:** 所定用紙でお申込みください。メール、ファックスでも可能です。ただし、閲覧件数は一度に5点までです。
- **資料閲覧:** 個人情報情報の審査終了後、閲覧の可否を連絡します。館内の閲覧室でご覧ください。館外貸出しはいたしません。



※審査に時間を要する場合があります。また、個人情報が含まれる資料は閲覧できないことがあります。「目録検索システム」の利用及び「閲覧申込書」のダウンロードは、上田市ホームページ内の公文書館のページからどうぞ。